

共通事項

1 大会参加に関して

- 大会で審判を行う場合は、必ず審判ワッペンを付けること。
- 大会開催会場の決まりにより施設を使用すること。（練習場所／ゴミの持ち帰り／喫煙場所 などに関して）特に、大会会場では、弁当ガラやペットボトル、グリップテープなど、すべてのゴミを観覧席などに置いていかず、持ち帰ること。
- 自身の試合順に留意するなど、大会運営が円滑に進むよう協力してください。
- 参加資格が守られていないペアは失格とします。
- 予選会以外の大会に関しては、他県登録選手は出場できません。
- 4月・5月の大会に出場する選手は、4月に入ったら速やかに日連登録を行うこと。ただし、未登録として出場する場合は別（参加費は1.5倍となります）。
- 審判資格を有していない者は、5月までに開催される審判講習会に参加して資格を取得すること。

2 大会申し込みに関して

- 大会申し込みは、「支部大会申込システム」により申し込むこと。電話・FAX等では受け付けません。また、参加料の払い込みをもって、申し込みが確定するため十分注意すること。
* 申込方法の詳細は、「日本ソフトテニス連盟システムマニュアル（団体管理者用）」を参照してください。
- 参加料は、システム入力後、速やかにコンビニまたは銀行等のATMから払い込みください。会員登録と同様に、入金完了しないと申し込み手続きは完了となりませんので、ご注意ください。
- 年齢は、令和3年4月1日現在の年齢を記載すること。
- 申し込みの受理は、会員番号により処理をしているため、間違いのないように注意すること。

3 大会におけるゼッケンの着用義務について

- 神奈川県連盟主催の大会には、指定のゼッケンを着用し、必ず四隅をとめること。
- ゼッケンの規格は、日本連盟規格に準じます。
- B5判 白の台布に黒文字で記入（ゴシック体 太文字）
- 上段 1/4 に都道府県、学連＜参考フォントサイズ 120＞
- 中段 2/4 に姓（苗字）＜参考フォントサイズ 200＞
- 下段 1/4 に所属名（企業名・クラブ名・学校名）＜参考フォントサイズ 100＞

**都道府県名
姓(苗字)
所属名**

4 予選会の本大会推薦に関して

- 本大会までに、本大会参加資格となる技術等級と公認審判員制度の資格を有する者。
ただし、本大会申込時に資格が確認できる選手のみを申し込みすること。
- 予選会で代表の権利を得たペアで、技術等級が参加資格に到達していない場合、技術等級の申請ができます。技術等級の規定により取得となりますが、取得できない場合もありますので、ご承知おきください。
- 中央大会に出場する選手は、予選会当日までに代表者届の手続きを行うこと。
- 他都道府県選手と組んで出場する場合、必要に応じて所属連盟会長の承諾書を申し込み時に提出すること。
- 本部推薦に該当する選手も必ず申し込みをすること。
※本部推薦枠の者は申込時にその旨を入力のこと（登録画面の備考欄に入力）。

5 その他

- 上記記載事項については、個々の大会要項に記載されていなくても適用します。
- 神奈川県連盟主催大会や主催事業の参加者は、写真や映像が広報活動の一環として活用される場合があることをご承知願います。

1 審判資格

中央大会に出場するには、審判資格が必須となります。

- 審判講習会を受講して資格を取得します。
- 審判資格は、審判講習会を受講し資格を取得した年から6年間が有効期間です。
- 審判資格の有効期限は全て3月31日までとなります。
- 審判資格がない方は中央大会までに開催される審判講習会を必ず受講して審判資格を取得してください。

2 技術等級

中央大会への出場に際し、技術等級の取得が必須になる場合があります。

- 1度取得したら生涯継続されます。
- 一般男女のみが必須の資格です。(一般男女以外は不要)
- (公財)日本ソフトテニス連盟の技術等級制度規程により取得する必要があります。
- 検定会での技術等級取得方法もありますが、神奈川県では現在実施していません。(実施が確定したらホームページ等で公開します。)そのため、大会による実績取得のみとなります。
- 大会による技術等級取得には、その大会の参加ペア数により取得できる等級が異なります。
- 詳細は神奈川県ソフトテニス連盟または日本ソフトテニス連盟のホームページ上で確認してください。
- 技術等級の詳細に関する問い合わせは、技術等級担当の大中(090-2323-5740)まで。
- 大会により必須等級が異なるので注意してください。

3 天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権大会に関して

- 令和元年度全日本総合ランキング一般男女10位以内のペアは本部推薦となりますが、必ず参加申し込みをしてください。(日連の申込書を確認のこと)
- 今年度の下記の大会で上位に入ったペアは本部推薦となり出場することができます。
 - ◎全日本社会人選手権大会(一般男子・女子16本以内・成年男子・女子4本以内)
 - ◎東日本選手権大会(一般男子・女子8本以内)
 - ◎関東選手権大会(一般男子・女子優勝ペア)

4 国民体育大会ふるさと選手制度について

＜国民体育大会ソフトテニス競技実施要項から一部抜粋＞

- ①国民体育大会基準要項細則第3項に基づき次のいずれかを拠点とした都道府県から参加できる
 - ア 居住地を示す現住所
 - イ 勤務地
 - ウ ふるさと
- ②「ふるさと」とは、卒業中学校又は卒業高校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。
- ③「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により登録をしなければならない。
(備考欄に入力)
- ④「ふるさと」から参加する選手は、開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。
- ⑤ふるさと選手制度の活用は、原則として1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。

5 注意

- 予選会を通過したとしても、審判資格と技術等級を持っていない場合は、中央大会には参加できません。
- 審判資格と技術等級は日連の会員登録一覧で取得されているかの確認ができます。
- 中央大会の情報が入り次第、神奈川県ソフトテニス連盟のホームページでご案内しますが、各自、日本ソフトテニス連盟のホームページなどで、情報を確認しておいてください。

☆選手の皆さんへの留意事項☆

- ◆大会へ出場する場合は、必ずゼッケンを着用してください。
- ◆大会で審判を行う場合は、必ず審判ワッペンを付けてください。
- ◆大会会場では、弁当ガラやペットボトル、グリップテープなど、すべてのゴミを観覧席などに置いていかず、持ち帰るようにしてください。
- ◆自身の試合順に留意するなど、大会運営が円滑に進むよう協力してください。
- ◆中央大会に関しては、本大会の情報が入り次第、神奈川県ソフトテニス連盟のホームページでご案内しますが、各人においても、日本ソフトテニス連盟のホームページなどで、逐次情報を確認しておいてください。
- ◆県連盟主催大会や主催事業の参加者は写真や映像が、広報活動の一環として活用される場合があることをご承諾願います。